マイナンバーカードを使って

# コンビニエンスストアで証明書を取得できます

申問市民環境課（氷上庁舎内）☎82-2002 HP

## より便利に使いやすく！

マイナンバーカードを使って、全国のコンビニエンスストアで住民票の写しなどの各種証明書が取得できます。市役所窓口の閉庁時にも証明書を取得することができます。

■対象／丹波市に住民票があり、マイナンバーカードを所持している人※15歳未満や成年被後見人の人を除く

■利用時間／午前6時30分～午後11時※年末年始（12月29日～1月3日）、年2回程度のシステムメンテナンス日を除く

■ところ／各コンビニエンスストア

■取得できる証明書／住民票の写し、住民票記載事項証明書、印鑑登録証明書、所得課税証明書（現年度）

■必要なもの／マイナンバーカード、数字4桁のカードに設定した（利用者証明用電子証明書）暗証番号、発行手数料各200円

※市役所窓口で印鑑登録証明書を取得する場合は、印鑑登録証が必要です。

## カードを申請しよう

コンビニエンスストアで証明書を取得するには、マイナンバーカードが必要です。カードは、マイナンバーが記載され、顔写真付きで、本人確認書類として使用できます。

■申請方法

郵送またはQRコード、個人番号カードオンライン申請のウェブサイトを利用して申請をしてください。カードの受け取り案内が届いたら、本人の運転免許証など顔写真付きの身分証明書（健康保険証や年金手帳など顔写真がない証明書は2点）を持って、市民環境課または各支所窓口までお越しください。

通知カードに同封されていた交付申請書を紛失した場合は、新たな申請書が必要です。住所や氏名に変更がある場合は、交付申請書の住所や氏名を書き換えて使用できます。ただし、平成29年11月12日以前に変更があった場合は、新たな申請書が必要です。

●郵送申請

通知カードに同封されていた交付申請書に必要事項を記入し、顔写真を貼付する。同封されていた返信用封筒に入れて、郵送する。封筒の使用期限（平成29年10月4日）以降も使用できます。

●QRコード利用申請

交付申請書のQRコードをスマートフォンやまちなかの証明用写真機などで読み取り、申請用ウェブサイトにアクセスして申請する。

●オンライン利用申請

「個人番号カードオンライン申請」ウェブサイトにアクセスして申請する。

### サービス利用手順

コンビニエンスストアに設置の多機能コピー機を操作して取得します。

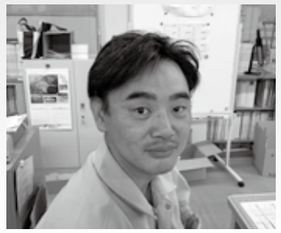
①メニューから「行政サービス」内の「証明書交付サービス」を選択。
②マイナンバーカードを読み取り。
③証明書交付市町村を「お住まいの市区町村の証明書」と選択。
④マイナンバーカードの暗証番号を入力。
⑤取得したい証明書の種別（住民票の写し、印鑑登録証明書、所得課税証明書など）、交付内容（世帯全員、本人のみなど）、記載事項（世帯主・続柄・本籍など）を選択し、部数を入力。最後に、入力内容を確認。
⑥料金を支払い後、証明書が印刷される。

丹波市 地域おこし協力隊

地域おこし協力隊の活動を報告します

農業を学び　新たな担い手となる

## 水野（みずの） 陽一（よういち）さん vol.24



経歴：明石市出身。介護施設勤務から一転、半農半公の地域おこし協力隊２期生として、主にニンニクの栽培に取り組む。
任期：29年４月～

こんにちは。半農半公の地域おこし協力隊として、昨年４月から勤務している水野です。

昨年は市内の農家さんに農業の基本や機械の操作を教えてもらいながら、同時に農業大学校にも通って農業経営や簿記について学びました。就任から１年６カ月。丹波で春夏秋冬を経験し、自然や人の温かさなど、他の地域の人に市の良さを少しずつ伝えられるようになってきました。また、現在住んでいる南御油地域の人から機械を貸してもらったり、野菜の作り方や村のことを教えてもらい、農業だけでなく私生活でも支えてもらっていることに感謝しています。

現在は、新聞などで取り上げられているニンニクを中心とした農業実習を続けています。市では新興の作物なので、作例が少なく、栽培は難しい部分もありますが、試行錯誤しながらチャレンジしたいと考えています。

任期も折り返し地点を過ぎました。残りの任期でにんにくの販路拡大や、農業での自立をめざして努力していきたいと思います。

にんにくを手植えする水野隊員

市長コラム

## 丹波語り

### 但馬との連携

「但馬とつながりたい！」そんな気持ちが日ごとに高まります。そして、私は但馬が近いうちに必ずブレイクすると感じています。

昨年12月、劇作家で豊岡市芸術文化参与の平田オリザさんの講演会に参加した際、豊岡市の中貝市長は聴衆の前で「2022年に城崎で【国際芸術祭】を開催したい！」と宣言されました。

私は大変驚きました。しかし、講演を聴き、平田オリザさんの著書を数冊読むと、「なるほど、多分実現されるのだろう」と不思議な感動を覚えました。

それはなぜかというと、一つには、但馬は温泉・コウノトリなどストーリー性のある稀有な観光資源に恵まれていること、二つには「小さな世界都市」を目指す市長のもと、住民・職員のモチベーションが高まっていることです。

さらに、これから北近畿豊岡自動車道が北伸し、丹波と但馬の時間距離がどんどん短縮されていきます。インバウンドをはじめ、観光客を誘致する兵庫県の施策は「神戸↓姫路城↓城崎温泉」の３点を結ぶトライアングルになるでしょう。

城崎温泉に来た観光客を、さらに養父・朝来・丹波・篠山へと、懐かしい日本の農村・里山風景に誘うことはできないものか。その際に通過する春日ＩＣや道の駅「おばあちゃんの里」は限りない可能性があるのではないかと感じワクワクします。

観光施策の大転換期が来る予感がしています。

丹波市長 谷口進一

市内に飛来したコウノトリ